

協力 71



伝道団体連絡協議会

〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台2-1 OCC 614号室
Tel. 03-3291-5035
www.dendankyo.com

FRONT ESSAY

「仲間を増やそう」

政界を見るとまさにバラバラ。他党の批判はしても、協力して日本のために、世界のためにという視点を見出せない現況のような気がする。同じ党にいた人々がいくつもの派閥を形成して出て行った。ますます結束力を欠いて、何も決定したり実施したり出来にくい状態に陥っている。

日本のキリスト教界はどうだろうか。宣教150周年の時は、かろうじて3派がひとつにという形をとった。しかしその年が過ぎるとまた元の状態に戻っている。超教派の伝道大会や修養会・研修会をしようとしても、それぞれの企画があつて、それらがひとつになって会合をもつということは困難である。

ある牧師が、「この状態が続くようであれば、東京・首都圏における宣教は遅々とした前進しか出来ないのではないか」と言われた。

伝道団体がいくつ存在するのか定かではない。伝道団体連絡協議会(伝団協)を始めたころは確か50ぐらいは加盟していたように思う。しかし今は30ぐらい。

教会とは違った組織体である伝道団体は、協力会メンバーという位置づけでいくつかの伝道団体はJEAに加盟している。JEAの協力会メンバーになるか伝団協の会員になるかの選択に立たされる団体もある。というのも年会費が結構大きな課題になる。そのため伝団協を脱退してJEAの協力会メンバーになられた団体もある。やむをえないことである。JEAには確固たる信仰基準がある。そのためにJEAの協力会のメンバーになれない団体もある。

前述したように、求められる「結束」のために、共通の立場に立つことが大切なような気がする。つまり「仲間」になることである。伝団協は「超教派」であるために、JEAよりは幅が広い。いまよりもさらに多くの団体に加盟していただき、仲間作りをしていきたいと願っている。これからの日本宣教、アジア宣教、世界宣教を視野に入れながら、仲間を増やしていきたい。

ヨハネ17:11に、イエスが父なる神に祈っている祈りが記されている。この祈りは私たちの祈りでもある。



会長

姫井雅夫
(総動員伝道)



伝道団体連絡協議会 第27回総会のご案内

主な議案

1. 2010年度活動報告・会計報告
2. 2011年度活動案、予算案
3. 任期満了に伴う役員改選

日時：2010年4月22日(金) 14:00～16:00

場所：OCC 901号室

先日、こんな話を聞きました。昨年の子落盤事故において地下700mに取り残された人たちにチリの聖書協会から日本の聖書協会に「取り残された人々に聖書の御言葉を伝えたい」と連絡があり、聖書の御言葉を聞くことのできる「バイブルトーク」を送った、と言う話を聞いて感動しました。

それがどのように使われたかは、はっきりしていませんが、アメリカでもなく日本に連絡してきたことを聞いてさらに驚きました。

2011年度、各伝道団体がそれぞれ、与えられている使命を全うできる年にさせていただきたいと願っています。

さて、2011年度の総会を上記のとおり開催いたしますので諸団体は必ず出席してください。

その時に配布したい資料等がありましたらご持参ください。年会費の納入もお願いします。

伝道団体連絡協議会 新年情報交換会レポート

2011年1月14日(金)午後3時よりお茶の水クリスチャン・センターにて伝道協新年情報交換会が行われました。総務の岡本の司会により1部の礼拝においては、姫井雅夫会長より現在30の伝道団体連絡協議会加盟の団体をさらに拡大して協力を強化しましょう、とメッセージが語られました。

2部におきましては、参加団体数は、少し少なかったのですが、各団体から現在取り組んでいる宣教の働きの報告がなされました。

日時：2011年1月14日(金) 15:00～ 場所：OCC 415号室

出席団体：日本聖書協会、小さいのちを守る会、総動員伝道、全日本リバイバル・ミッション、プレイズ出版、新生宣教団、以上6団体

祈禱：岡本総務 開会礼拝 奨励：姫井会長

1. 新生宣教団(国井兄、赤松兄)

MANGA BIBLEは昨年末に第5巻目が出され、シリーズが完結。今までに多くの言語に翻訳され、反響を得ている。各国語の聖書印刷も多くの必要がある。今後も印刷・出版を通して、国内・海外の宣教の働きに励んでいく。

2. 日本聖書協会(池田兄、菊地兄)

公益法人から一般財団に。宣教150周年の企画を期に、超教派の連絡窓口の役を担い始めている。デジタル化の時代にメールマガジンを発行。絵本聖書。

書店(バイブル・ハウス)を青山に1号店を2月18日に開店する。

バイブル・トークという聖書を聞く機器を開発中。

3. 小さいのちを守る会(辻岡師)

名古屋に本部が移動してから活動が縮小した。性教育、中絶防止、養子縁組、中絶した女性のケア。

4. プレイズ出版(岡本師)

教会のリバイバルを求めて活動している。教会は何を提供できるのか、すべきなのか。

伝道協は何を提供できるのか、すべきなのか。

5. 総動員伝道(姫井師)

断食祈禱聖会、首都圏イースターのつどい、青森県トラクト配布伝道、中山道歩いて伝道、研修会などを今年の活動予定としている。

閉会祈禱：姫井

伝団協 加盟団体の紹介!



ハーベスト・タイム・ミニストリーズ

〒410-1115 静岡県裾野市千福が丘1-21-85
TEL: (055) 993-8880 FAX: (055) 993-8883
<http://www.harvesttime.tv/> (代表: 中川健一)

■大衆伝道から弟子訓練へ

ハーベスト・タイム・ミニストリーズは、24年間にわたり、テレビ番組「ハーベスト・タイム」を通して、日本の方々に聖書の福音を伝えてまいりました。ハーベスト・タイムは長年、視聴者の皆様に支えられてきましたが、2010年3月に放映を終了し、テレビ伝道という大衆伝道から、聖書の解き明かしを中心にした弟子訓練へと活動の場を移しました。

■現在の活動

1. ハーベストフォーラム東京

弟子訓練プログラムの一環として、毎週日曜、月曜に東京の恵比寿で定例会を開いています(日曜日は午後3時半から、月曜日は午前10時半から)。(1)この定例会では、「聖書を解き明かす」ということを第一にメッセージを語っています(講解説教と言います)。(2)講解メッセージは、「マタイの福音書」(計30回)、「創世記」(計65回)、「出エジプト記」(計50回)、そして「ローマ人への手紙」へと進んでいます。なお、大阪では月に一度の月例会を開いています。関西方面の方はお越しく下さい。

2. ハーベスト聖書塾

次世代のリーダー育成のために、ハーベスト聖書塾を開講しています。この聖書塾の特徴は、ヘブル的視点で聖書を体系的に学ぶということです。(1)最初の4カ月の入門コースでは、月に1回のスクーリング(土曜日)があります。(2)入門コースが終わると、次は2年間の通信講座に入ります。合計48課を2年で学びます。ヘブル的視点から聖書を学びたいと思われた方は、ハーベスト聖書塾事務局までお問い合わせください。

3. ユダヤ人伝道、海外宣教

ハーベスト・タイムは、ユダヤ人伝道に特別な重荷を与えられています。そのため、姉妹団体であるJ&Jミニストリーズとの協力で、イスラエルに関する情報を月刊「つづえ」紙を通してお伝えし、定期的にイスラエルへの聖地旅行を企画しています。また、ハーベストUSAを設立し、米国内の日系人に伝道するために活動しています。

4. 聖会・セミナー

毎年春の再臨待望聖会(3月)、フルクテンバウムセミナー(4、5月)など、各種の聖会・セミナーを開催しています。過去に行われたセミナーは、録画・録音されて教材として販売されています。



B.F.P. Japan (ブリッジス・フォー・ピース)

〒130-0012 東京都墨田区太平4-13-2 太平サクラビル5F
TEL:03-5637-5333 FAX:03-5637-5331
<http://www.bfpj.org>

●ブリッジス・フォー・ピース(BFP)とは

エルサレムを本部とし、和解と平和のために活動をしている国際キリスト教団体です。イスラエルとその人々を愛し、クリスチャンとユダヤ人の間に愛の関係を築くために、1976年、エルサレムに設立されました。B.F.P.Japanはそのブランチのひとつです。本来、一つであったはずのユダヤ人とクリスチャンは、神の意志に反して、1700年間にわたって対立してきました。それは、クリスチャン国によるユダヤ人迫害という歴史の積み重ねでもありました。今こそ、個人、教派にかかわらず、神の選びの民、ユダヤ人の癒やしのために立ち上がる時です。B.F.P.Japanは、お互いを隔てているこの溝に、“平和の架け橋”を築くために献身しています。

●B.F.P.Japanの目的

1. イスラエルとクリスチャンの和解—過去1700年の歴史を通してキリスト教国から受けた深い傷を持つユダヤ人との和解に取り組んでいます。(エペソ2:14-15)
2. イスラエルと日本の救い—イスラエルの回復と日本の救いのために、祈りの輪を広げています。(1テモテ2:4)
3. 主が再び来られる日を覚える—聖書に基づいて、イスラエルと神のご計画を分かりやすくお伝えしています。(IIペテロ3:12)

●B.F.P.Japanが推進する3つの働き

1. 宣教活動 出版、ホームページ、イスラエルツアー、セミナーによりイスラエル理解を深める。
2. 支援 世界中のクリスチャンからの支援によって、イスラエルに住む人々の物心両面を支える。
3. 祈り イスラエルをとりなす祈り会「ハイナイト」を推進し、エルサレムの平和と日本のリバイバルのための祈りを拡大する。



●アジア・アクセス JGCIネットワーク

4月から西日本・東海地区で始まる2011年度の教会成長研修のために。また、各地の地域別研修に参加されている先生方の働きのためにお祈りください。

●いのちのことは社

「福音車21ゴスペルボックス」は、昨年から全国を巡回し、150件の教会と幼稚園を訪問しました。今年1月から2月迄、南西諸島を巡回伝道しています。実を結び働きとなりますように。

●クリスチャン文書伝道団 (CLC)

- ・スタッフの高齢化が進み、引退者が出てきます。これからの体制が主の御旨に沿うものとなりますように。新たな人材が必要ならば、与えてください。
- ・出版、小売業界が厳しい状況にあります。どうか主からの良き知恵がそれぞれに与えられ、業界全体が立ち上がっていただけるように。文書伝道の働きが守られますように。
- ・スタッフとその家族の健康と霊性が守られますように。

●国際ナビゲーター

3月21日から24日まで、軽井沢にて全国のスタッフが集まるカンファランスを開催します。主のみこころに沿った宣教の方向が示され、一致して邁進していただけるようお祈りいただければ幸いです。

●新生宣教団

全世界でみこばを待ち望んでいる兄弟姉妹の手に聖書が届きますように。

特に世界で一番閉ざされた国の兄弟姉妹の信仰生活全てが守られますようにお祈りください。

私たちもその方々に向けて聖書、マンガ聖書を送り届けています。皆様のお祈りに加えていただければ幸いです。

●全日本リバイバルミッション

- ・5月25日(水)～27日(金)韓国リバイバルミッション 春川大会が祝福されるように。
- ・6月1日(水)～4日(土)韓国リバイバルミッション ソウル大会が祝福されるように。
- ・9月に行われる九州七県の各教会で行われる「九州リバイバルミッション」が祝福されるように。

●総動員伝道

委員の若返り、経済の安定、活動(青森県でのトラクト配布伝道、中山道歩いて伝道、東北教役者研修会、機関紙の発行など)、日本の教界に霊のうねりを。無牧の教会の保持のために。

●(財)太平洋放送協会 (PBA)

PBAは今年創立60年を迎えます。PBA制作の福音番組が日本の民放ラジオから放送され始めて60年が経ち、今ではテレビでも福音をお届けできるようになりました。これまでの導きを主に感謝し、祈り捧げてくださる皆さまに感謝します。これからも、教会と共に忠実に宣教に励むことができますようお祈り下さい。

●小さいのちを守る会

- ・相談をしてくる女性たちが出産の決心ができるように。
- ・そのため、愛と知恵をもって接し、お手伝いができるように。
- ・教会外にも本会の働きを知っていただけるように。

●日本キリスト伝道会

「更に幻を見つめつつ!」

創設して43年目! 3つの柱。①全国教会強化運動、②日本伝道の幻を語る会、③国際信仰交流。原登会長はじめ皆、救霊とリバイバルに熱く燃えますように。(深谷春男=実行委員長)

●日本聖書協会

2月18日、「パイブルハウス南青山」という聖書、キリスト教書の専門店を渋谷にオープンします。一人でも多くの人々が聖書を手にしてみこばのいのちに触れられますようにお祈りください。また、「聖書と音楽の出会い」というテーマで賛美演奏とともに聖書のみこばに触れるイベントを3月5日に大阪、4月8日に東京、4月16日に佐賀で開催します。お祈りください。

●ハーベスト・タイム・ミニストリーズ

- ・3月に第二回再臨待望聖会を開催します。この集会在主に用いられますように。
- ・4月に札幌、秋に東京と福岡で聖書塾を開講します。お祈りください。

●B. F. P. Japan

イスラエルをとりまく中東情勢を、遠い国で起こっている問題としてではなくすべてのクリスチャンが身近に感じて、とりなし祈る器となるように。日本とイスラエルの回復と救いのために。

